

授業科目	看護安全管理論	4 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	今野美紀 (保健医療学研究棟 E112 号) e-mail : miki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	田畑久江、(旗手俊彦)、(橋本暁佳)、(未定)		
概要	医療における安全は患者・医療者にとって最も重要なものと認識されているが、未だ医療事故が起こっているのが実情である。 本科目において学生は、医療事故の特徴と医療における安全の確保とはいかなることかを学び、安全で質の高い看護実践に貢献する基礎的な知識、技術、及び管理について学ぶ。		
到達目標	1. 医療事故の特徴について述べられる。 2. 診療の補助業務における看護事故の特徴、及び療養上の世話における看護事故の特徴を述べられる。 3. 医療従事者の安全確保について述べられる。 4. 組織的な医療安全体制について述べられる。 5. 看護実践における安全管理について述べられる。		
関連科目	看護管理論 1、看護管理論 2、看護技術総合演習		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	提出物	90%	提出物：事例検討の提出内容(50%)、最終レポート(30%)、提出状況(10%) 学習態度：グループワーク参加態度(10%)
	学習態度	10%	
教科書	①川村治子 [最新版] 「医療安全ワークブック 第4版」 医学書院		
参考書	①嶋森好子他 [最新版] 「医療安全とリスクマネジメント」 ヌーヴェルヒロカワ ②川村治子 [最新版] 「系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践」 医学書院 ③落合和徳他 [最新版] 「チームステップス日本版医療安全」 メジカルビュー社 ④相馬孝博 [最新版] 「患者安全のためのノンテクニカルスキル超入門」 MC メディカ出版 ⑤相馬孝博 [最新版] 「WHO 患者安全カリキュラムガイド」 MC メディカ出版		
履修上の留意点	・グループ単位での演習には積極的に参加すること。 ・ワークブックで医療安全に必要な知識を確認しておくこと。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション、医療事故に関わる基本概念	事前：医療事故に関する新聞記事等を読む 事後：授業の振り返り	講義	今野
2	ヒューマンエラー対策を考える	事前：前回までの学習の振り返り 事後：授業の振り返り	演習	今野・田畑
3	医療安全と医療の質 医療安全に関する国内学会、団体の取り組み、テクニカルスキルとノンテクニカルスキル、チーム医療、医療事故における法的責任	事前：前回までの学習の振り返り 事後：授業の振り返り	講義	(旗手)
4	医療事故の特徴 原因と対策	事前：前回までの学習の振り返り 事後：授業の振り返り	〃	(橋本)
5	医療者の安全確保 健康管理、院内感染予防	事前：前回までの学習の振り返り 事後：授業の振り返り	〃	(橋本)
6	医療事故における法的責任 医事紛争事例、組織的解決方法	事前：前回までの学習の振り返り 事後：授業の振り返り	〃	(旗手)

7	看護に関する事故における法的責任 看護事例、解決方法	事前：前回までの学習の振り返り 事後：授業の振り返り	〃	未定
8	看護業務における医療事故の特徴 診療の補助業務、療養上の世話における事故の特徴	事前：前回までの学習の振り返り 事後：授業の振り返り	〃	今野
9	医療事故の特徴 原因と対策、札幌医科大学附属病院における対策	事前：前回までの学習の振り返り 事後：授業の振り返り	〃	未定
10	起こりやすい医療事故の特徴とその対策を考える 与薬、チューブ・カテーテル、転倒・転落、食事・栄養、患者誤認	事前：資料を読む 事後：グループワークのまとめ	演習	今野・ 田畑
11	起こりやすい医療事故の特徴とその対策を考える 与薬、チューブ・カテーテル、転倒・転落、食事・栄養、患者誤認	事前：資料を読む 事後：グループワークのまとめ	〃	〃
12	起こりやすい医療事故の特徴とその対策を考える 与薬、チューブ・カテーテル、転倒・転落、食事・栄養、患者誤認	事前：資料を読む 事後：グループワークのまとめ	〃	〃
13	起こりやすい医療事故の特徴とその対策を考える 与薬、チューブ・カテーテル、転倒・転落、食事・栄養、患者誤認	事前：資料を読む 事後：グループワークのまとめ	〃	〃
14	起こりやすい医療事故の特徴とその対策 報告会	事前：報告資料作り	〃	〃
15	起こりやすい医療事故の特徴とその対策 報告会	事後：報告会をふまえたレポート作成	〃	〃